

苦痛の少ない消化器内視鏡検査 アンチエイジングで健康長寿を



「日々の体調を整え、健康な身体を守り、維持することが大切です。健康長寿を目指し、皆さまとともに意識を高めていきたい」と話す石院長。病気の早期発見・予防のための定期検診、アンチエイジングにも力を注いでいる

1981年の開設以来、胃腸科を中心に内科全般にわたり地域に根差した医療を実践する、いし胃腸科内科。2012年より院長を務める石忠明氏は、「患者さんの話しをよく聞き、説明は分かりやすい言葉で理解が得られるよう丁寧に行い、患者さんお一人お一人の要望に細やかに応えられる診療を心掛けています」と話す。

胃腸科・内科として、特に消化器疾患の早期発見・治療に力を入れ、内視鏡による、苦痛の少ない検査に努める。胃カメラは経鼻内視鏡、大腸カメラはおなかの張りを少なくするCO₂送気を導入。患者の希望に応じて、鎮静剤も使用しながら胃カメラ・大腸カメラ検査を積極的に行っている。「内視鏡検査に対して、一般的に苦痛をとまなうという印象を強く持たれていますが、苦痛なく気軽に受けられる検査であると認識していただけるよう医療技術の向上にも

努めています」と話す。胃がんや大腸がんの早期発見をはじめ、胃潰瘍やピロリ菌感染性胃炎、大腸ポリープや虚血性腸炎、特定疾患である潰瘍性大腸炎などの治療にも積極的に取り組む。大腸ポリープの切除は日帰りで実施。日帰り手術が難しい場合や、胃・大腸がんについては、提携病院との連携による安心の体制も整っている。

また、日本抗加齢医学会専門医の資格を持つ石院長は、アンチエイジングという観点から「健康長寿」を目指した、最適で最新の医療の提供にも力を入れる。「狭心症や心筋梗塞の原因となる動脈硬化も加齢にともなう変化の一つです。禁煙外来も肺疾患予防はもちろん、喫煙はシワやシミなど美容にも影響を与えます」。病気の予防とアンチエイジングを組み合わせた診療にも積極的に取り組み、骨粗しょう症治療、プラセンタ注射も患者から好評だ。



- 1 肺炎球菌ワクチンやインフルエンザワクチンなど各種予防接種も実施。駐車場も完備し利便性もいい
- 2 経鼻内視鏡を備え、負担の少ない検査を実施
- 3 腹部エコーで肝臓、胆のう、腎臓、すい臓に異常がないか、早期発見に努める



理事長・院長
石 忠明氏

岩手医科大学卒業。日本内科学会総合内科専門医。日本消化器病学会・日本消化器内視鏡学会・日本抗加齢医学会各専門医。日本医師会認定産業医

胃腸科・内科

医療法人社団

いし胃腸科内科

☎011-813-1220

札幌市豊平区平岸3条14丁目1-5

<http://www.ishi-ichouka-naika.com/>

診療時間／

月・水・木 8:30～12:00 13:00～17:00

火・金 8:30～12:00 13:00～19:00

土曜 8:30～12:00

休診日／日曜・祝日

最寄りアクセス／

地下鉄南北線南平岸駅から徒歩3分